

学術部生理機能検査部門研修会

平成 25 年 6 月 29 日 13:30～16:30

東北大学病院 1F 臨床小講堂

参加者 78 名（会員：69 名 非会員：9 名）

テーマ：「精度管理フォローアップ研修会」

講演

- ・「危険な心電図 不整脈疾患から虚血疾患まで」 山本 修平 技師（精度管理委員）
- ・「心機能の正しい評価法」 みやぎ県南中核病院 藤田雅史 技師
- ・「見落としのない腹部超音波検査」 大橋 泰弘 技師（精度管理委員）

昨年度実施された生理部門精度管理に出題された内容を中心に心電図・心エコー・腹部エコーの 3 分野について講演を行った。

心電図・腹部エコーに関しては、各設問の正答率、出題の意図を演者に解説してもらいながら、誤回答施設が多かった問題の解釈の違いや類似した症例・波形の考え方、一步進んだ検査法といった設問の範囲にとどまらない幅広い内容について、実際に遭遇した症例を交えて講義を行った。

心エコーに関しては、新たな試みとして行った動画による心機能評価（Eye ball EF）の回答の結果を踏まえて、収縮能を中心とした基本的な評価方法、やってはいけない評価法また、Eye ball で EF を評価する際にポイントとなる部分などについてわかりやすく解説を行ってもらった。

生理機能検査部門の精度管理は出題の意図、期待する回答が曖昧である場合、単なるクイズとなってしまう傾向にあり、回答する事が目的となってしまう。昨年度行われた際に出題された問題は明確な出題の意図があり、回答をして更に今回のようなフォローアップ研修会に参加することでその部門に関する理解がさらに深まるといった当初の目的がある程度は達することができた精度管理・研修会であった。

昨年度精度管理に参加していただいた施設の回答から、一部ではあるが県内施設の問題点なども垣間見ることができ、その情報を参考に今年度の研修会や精度管理を実施してゆきたい。

文責：生理機能検査部門 部門長 大沼 秀知